令和４年度

合格者の失敗談・おすすめの学習法・受験生へのメッセージ集

VOL.３退職専念生・既卒専念生から

No	論文合格時の状況
1	Oさん（学生→会計大学院卒→一度撤退・社会人→専念　海外通信）
2	小川さん　短答リスタート 12→８合格　卒１
3	Ｔさん（卒３　2020 年８月短答合格　論文３回目合格）
4	M.O さん（論文 2 回目合格 社会人→専念、短答リスタート・論文リスタート）
5	Ｉさん（卒３　論文３回目合格）
6	Y.T さん（卒１　論文３回目合格）

※合格者のテキスト写真は、別冊で Web School「教材」欄へアップロード。

※メッセージ集 Vol.4 以降配付時は、LINE 公式アカウントで案内。

１　　Oさん（学生→会計大学院卒→一度撤退・社会人→専念　海外通信）

2/4(土)zoom 質問ルーム 9-11 時など

プロフィール

私は、合格までかなり回り道をしたタイプの人間です。学部時代に会計士試験に挑戦し、短答過年度も経験の上、あと一問というところで短答不合格となり、燃え尽き撤退。その後、アカスクに進学して驚くほどに遊び回り、ヨドバシカメラで派遣スタッフとして死ぬほどカメラを売った話を引っさげて就活して、一部上場企業に入社しました。就職後、キャリアアップを目的に、改めて会計士試験に挑戦しました。上級期に入る前、妻の海外駐在に帯同するために会社を退職し、渡米後は通信生として受講し合格しました。

撤退時と論文合格時の違いは、勉強の仕方と、意味を理解したかどうかです（後述）。

失敗談　「やりたい勉強」と「合格に必要な勉強」/相談を利用せず

撤退する前も十分な「学習量と時間」を確保できていたと思いますが、自分自身が「やりたいと思う勉強」の積み上げをした結果として、『合格に必要な勉強』はできていませんでした。資格試験においては、やりたいことではなく、必要なことを積み上げるしかないです。

また、撤退時は、他の人が「いい」と言っていたからアクセスだけをただひたすら「回し」たり、答案の添削をしてもらわないなど、間違った方法で、しかも質問相談せず、自力で解決しようとしていました。社会人を経験し、もらったお金以上に他人に働かされる経験をした今、ものすごくもったいなかったと後悔しています。お金を払った他人やサービスは、とことん使い倒しましょう。

おすすめの学習法・意識していたこと

1.勉強の仕方

撤退した時と合格できた今回とで、勉強方法の大きな違いは『①あるべき姿と②現状を把握し③その差を埋める』ことを意識したことです（『ギャップアプローチ』や『As-Is To-Be Gap』などでググってみてください）。

例えば…

①【大目標】最終的なあるべき姿：

「2023 年 8 月」の「論文式試験」を「全体偏差値 56」で「合格する」

ここから逆算して、マイルストーン毎に区切ります。

※そもそも論ですが、あるべき姿は、論文に合格する（偏差値 52 以上）という以外は、その人が置かれている状況によって千差万別です。上記も、私が考える最強のあるべき姿ですし、初年度生は後半に成績が急激に伸びるものです。あるべき姿を自分で描くことは出来ないと思いますので、先生に頼ってください（そのためにお金を払っているはず）。

マイルストーン

全体偏差値 56 で合格するためには･･･

6 月末の模試時点で全体偏差値 56・A 判定が取れている必要あり【中目標】

6 月末の模試時点で全体偏差値 56・A 判定を取るためには･･･

４月末の模試時点で全体偏差値 56・A 判定が取れている必要あり【中目標】

４月末の模試を全体偏差値 56 で A 判定を取るためには･･･

答練・アクセスで A 判定が取れている必要あり【中目標】

答練・アクセスで A 判定を取るためには･･･

答練・アクセスの日までに該当論点の理解・暗記が必要【小目標】

答練・アクセスの日までに該当の論点を理解し暗記するためには･･･

今週末までに論点の理解・暗記が必要

今週末までに論点を理解し暗記するためには･･･

今日は〇〇をしなければならない

このような形で、あるべき姿を繋がり、逆算して決めていきます。

②次に、現状の把握です。
　現状を客観的に把握するには、答練などでアウトプットをするしかありません。最近であればテキストチェックゼミなどもいいと思います。アウトプットの結果で、自分の現状を把握してみましょう。楽観も悲観もせず、冷徹に、ただその事実のみを見るのがポイントです。

③差を埋める=勉強する
　①のあるべき姿と②で把握した現状を埋めるために、③勉強をします。
　勉強は、あくまでも「あるべき姿と現状の差分を埋める作業」という割り切りが必要です。知的好奇心を充たすための勉強については、のめり込みすぎないことを条件に、時間を決めて楽しんでいました。

④現状を再認識する
　答練・アクセス等で、現状を再認識します。あるべき姿と現状がバッチリ重なるはずですが、なかなかそうはならないのが人生です。そもそもあるべき姿は正しかったのか、今に至るまでの勉強を改善すべきか。ケースバイケースです。まずは現状をあるべき姿に修正し、必要な対策を検討して勉強 or あるべき姿に反映し、また差を埋める作業に移ります。

⑤ひたすら繰り返す
　この作業をひたすら繰り返します。最初は計画の立て方やその他諸々に時間がかかりますが、そのうち自分と向き合う時間が長くなります。そこからは、苦しいですが言語化できると楽しいので、そういう修行だと思えば良いと思います。

おすすめのツール・学習法
■Time Timer：宮内先生おすすめの最強ツールです。時間の使い方は命の使い方です。日々減っていく命を観察できます。

■Anki アプリ：経営学の用語や管理会計、監査論の論文問題集に役立ちました。今日は〇〇するぞと把握する必要が無くなるのはかなり楽でした。

■3 年日記：長丁場の試験のため、振り返るといい思い出にもなります。私は簿記の基礎マスターⅠの 1 回目の講義を受け始たちょうど 1 年後に、1 回目の論文式試験があり、感慨深かったです。その日は“中田翔がトレードに出されていてびっくり”しか書いてありませんでした。

■不合格体験記を書く：〇〇したから××になって不合格になった。というようなものを自分で書いていました。〇〇を避ければ、反省はあれど後悔はしないと思います。おすすめです。

■やる気について

　やる気は、おおむね睡眠・栄養・運動が不足しているときや、今やらなければいけないことがわからないときに緩みます。自分が本当に何時間寝れば次の日全力を出して頑張れるか、把握することを強く強くお勧めします。そして、何をしなければいけないか迷子になったら、すぐに講師に相談しましょう。進むべき道が見えれば、やる気は湧いてきます。

■電卓を叩く

　良いことがあっても嫌なことがあっても電卓を叩くこと。電卓を叩けば全てが解決される。

■集計にはマーカーを使う

　簿記の集計には、自分の下書きに対してもマーカーを使っていました。集計漏れ/忘れが多い人は、是非試してみてください。そしてなぜマーカーを引く集計対象から漏らしたのかを突き詰めると、自分の理解不足が見えてきます。マーカーで滲むボールペンもあるので気をつけてください。

■ミニテストで満点を取れないことの意味

　ミニテストは名前が可愛いので舐められがちですが、彼らの本性は、満点を取れなければその分だけ合格から遠ざかっていることを知らせてくれるテストです。満点取れなければ合格が遠のくテストに改名すべきだと個人的に思っています。

同じ状況の受験生へメッセージ

撤退を検討している方へ

　撤退という事実は変わりませんが、それに対する認識は、自分次第で変えることはできます。私は燃え尽きて撤退したため切り替えはすぐできたのですが、多くの人は、撤退したことを受け入れ消化するのには時間がかかると思います。少しでももやもやが残っているのであれば、本気で挑戦してみるといいと思います。砕け散ったかどうかは、次のステージに進む上での納得感が違います。

　私の場合は、正しい受験勉強の仕方を知らずにただガムシャラに取り組み、砕け散り、すっきり撤退しました。正しいやり方で戦ってもそれでもダメであれば、相性が悪かっただけかもしれませんし、自分が気付いていない才能で世の中をあっと言わせることができるかもしれないです。繰り返しになりますが、納得

して撤退できるのが一番だと思います。私が新卒で入社した会社は、上司・先輩・私・後輩と、会計士試験撤退組が沢山いました。みんな海外駐在を経験していたり昇進が異常に早かったりと、社会で活躍できることと会計士試験に受かることは別ですので、安心してください。

アカスク進学を検討している方へ

働きながらの再チャレンジを視野に入れる場合は、かなり有利に働きます。私は短答３科目免除があったため、今回の戦略（2021 年通常の試し受験時に５月短答を企業法だけで短答を突破し、論文に１年専念する）をとることができました。一方で、就職せず会計士試験の合格を一直線に目指す場合には、アカスク進学は負担が増えるので、周囲、特にアカスクに進学した先輩や、親などの資金提供者と十分に相談してください。個人的には、アカスクのおかげで今回の会計士試験に合格できたし、アカスクで気の合う友達を見つけられたので、人生として行ってよかったと思っています。

一般就活を検討している方へ

一般論になってしまいますが、早めに動き出すのがいいです。納得のいく内定をもらうために会計士試験と大学生活と就活の３面を同時に対処するのはかなり厳しいです。なお、会計士試験以外にも頑張ったことがあると強いです。

働きながら勉強している方へ

仕事を通じて学んだ課題解決能力を、勉強に転用するとうまくいくと思います。上級期前に退職したため、申し訳ないですが、細かい方法論は私にはないです。

退職専念を検討している方へ

退職に踏み切る前に、仮に試験に受からなかった場合のプランを入念に練ることをお勧めします。（お金と再就職先の 2 点を中心に）。例えば、資金が１００万円を切ったらアルバイトをする、いつまでの短答に受からなかったら再就職をする、など。再就職にあたっては、信頼できる転職エージェントに、今までの業務経験と会計士試験への挑戦、そして空白期間について総合的にどのような評価になるか聞いてみるといいと思います。私の場合は、家族都合の退職であることや経理の中でも割と特殊な仕事をしていたので、仮に不合格であっても BIG4 のアドバイザリーには就職できると確信できたため、再就職について不安はありませんでした。お金の心配は死ぬまで付き纏うので、基本的に諦めの姿勢で、貯金が 200 万円を切ったら働こうと決めていました。

現在退職専念の方へ

受験勉強においては、理不尽なクレームをつける顧客や無理な納期で仕事を振る上司もいなければ、ましてや期日を過ぎてやっていませんでしたと言ってくる後輩もいないです。これらと比べれば、受験生を取り巻く環境は、子育て以外は自分の手で何とかできるものも多いです。いい点をとることにさえ集中していれば、問題ないと思います。

海外通信生の方へ

Zoom の質問コーナーを積極的に使うことをお勧めします。基本的に、一人で勉強することになると思います。ただでさえ慣れない環境で大変な上に、その解決を自力でするのは危険です。積極的に頼った方がいいと思います。家族以外と日本語を話せる機会も貴重です。Zoom 待機してくれている先生も、今いる場所を伝えると、すぐ覚えてくれたりします。

答練やアクセスが PDF 採点されるようになったと聞いています。答練やアクセスについて、「自分のペースメーカーにする」と決めた校舎の日程通りに受けることは大事です。

また、一時帰国の時に何を持ち帰るか決めておくと、普段の勉強も工夫しやすくなります。私は基本的にテキストに集中させていました。

最後に

「死ぬ気でやってみてください。死にませんから。」という言葉もありますが、日本人は、死ぬ気でやったらきちんと死ぬと思います。私の叔父は、死ぬ気で働いて、若くして死にました。もしかしたら死ぬ気でやって死なないかもしれませんが、心身は間違いなく壊れます。私の経験上、一度壊れたものはそう簡単には治りません。「自分の限界の、ちょっと上」くらいで止まってください。

最後にもう一度、勉強は、あるべき姿と現状を埋めるために行います。あるべき姿と現状がわからないと、勉強も何をすべきか定まりません。慣れないと大変な作業になりますが、慣れれば楽です。いろんなフォロー制度を使い倒してください。私もまた違うイバラの道を突き進むことになりました。一緒にがんばりましょう。

小川さん　短答リスタート 12→8

プロフィール

自分は大学二年生で TAC に入会してから、中々アクセルがかからずに一度フェードアウトしかけました。しかし大学三年生になった段階で真剣に自分の将来を考えた時に、このままでは何も成し遂げられない人間になってしまうと考えて、戻ってきました。その後、前述したように短答にあと１問で不合格になったため、大学を卒業して専念の受験生になりました。

失敗談　直前期の科目バランス△・テキストを疎かにしたこと

自分が短答式試験に不合格になった一番大きな理由として、直前期に財務の計算を疎かにしたことが挙げられます。

「計算なんて暗記じゃないし、やらなくてもそんなに実力は落ちないだろう、理論科目を優先すべきだ」と完全にタカをくくって、本試験に臨んでしまいました。その結果、得意なはずであった財務の計算で足を引っ張り、計算問題一問分の差で、ボーダーに届かず短答リスタートとなりました。

計算問題に触れ続けていると、無意識下のうちに、間違えやすい箇所を即座に想起したり、解答の道筋を即座に見通せたりなど、問題を解く際の感覚が研ぎ澄まされていると感じました。

もちろん、直前期は理論科目の勉強に重点を置くべきですが、計算の実力を維持するためにも毎日 30～60 分ほどは実際に手を動かして勉強するべきだと思います。この際、テキストを見るだけでではなく実際に問題を解いた方が良いと思います。

特に苦手な科目、苦手な箇所はなるべく早く潰して、直前期は特定の科目に偏ることなく、全科目満遍なく触れ続けることが大事だと感じました。

また、学習を始めて初期の段階の方が陥りやすい勉強法ですが、答練や問題集メインで学習し、テキストに触れないのは危険だと思います。

おすすめの学習法

本試験では解答一つで合否が別れるので、論文理論でどうしても覚えられない箇所は論理構成の頭文字を取ったり、絵（落書き）をして、無理矢理頭に詰め込みました。

しっかりと論理の構成要素が書けていれば、覚え切れずに必要な構成要素が欠けた答案よりはマシだと考えていました。また、当初は頭文字などで答練までに無理矢理覚えたとしても、後々勉強が進むと深い理解に繋がることもありました。全てを無理矢理暗記するのはお勧めしませんが、有効な場合もあると思います。

管理会計について:安達先生のテキストチェックゼミを受講したことで、体系的な理解につながりました。アーカイブで受講しましたが、その場の緊張感を体感でき、自分のテキストの読み方がいかに浅かったかが分かりました。

管理会計に限らず、他の科目を含めて、テキストに対する取り組み方を確認する場として有効だと思います。

同じ状況の受験生へ

周りの友人が社会に出て働いているのに、自分は貴重な 20 代の期間に何をやっているんだろうと焦った時期もありました。ただ、自分で公認会計士試験に合格すると決めた以上は、その目標まで全力を出し続けることしか選択肢はないし、次の 8 月に合格すれば良いだけだと考えて、集中して勉強に取り組むことが出来ました。

公認会計士試験の勉強は、質も大事ですが、大量の努力が報われやすい試験だと思います。「周りの受験生は関係ない、最後は自分の弱さとの戦いだ」と、講師の方からいただいた言葉も、大変身に染みました。

最後まで自分を信じて頑張ってください！

Ｔさん（卒３　2020 年８月短答合格　論文３回目合格）

令和02年 公認会計士試験論文式試験成績通知書

免除資格を取得した科目については、得点率の欄に「※」を表示しています。
免除資格を取得した科目がある場合には、論文式試験一部科目免除資格通知書を別にお送りしています。

科目区分	会計学	監査論	企業法	租税法	経営学	経済学	民法	統計学	総合
得点率	51.70	47.90	49.70	49.25	39.15	-	-	-	48.72
問別得点（調整後）	一 20.75 四 36.8 二 24.05 五 37.5 三 36	一 22.65 二 25.25	一 24 二 25.7	一 17.75 二 31.5	一 18.85 二 20.3	三 - 四 -	五 - 六 -	七 - 八 -	
順位	205位	568位	399位	453位	1,202位	-	-	-	618位

論文１年目の反省点

2020 年 8 月短答(コロナの影響で 5 月から 8 月に延期)に合格し、３ヶ月後論文を受験しました。勉強量が足りませんでした。

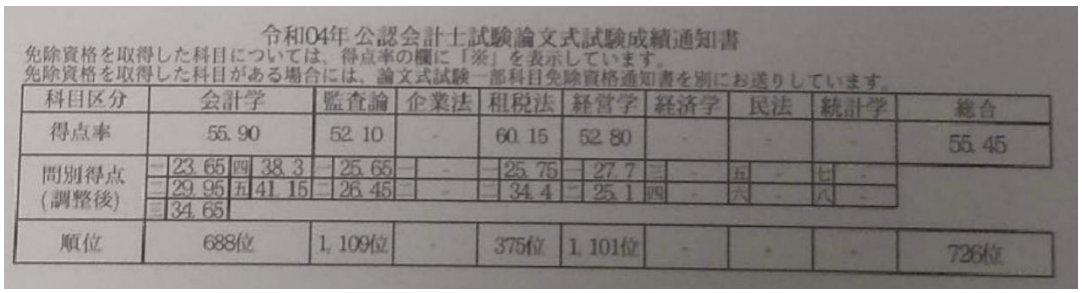
令和03年 公認会計士試験論文式試験成績通知書

免除資格を取得した科目については、得点率の欄に「※」を表示しています。
免除資格を取得した科目がある場合には、論文式試験一部科目免除資格通知書を別にお送りしています。

科目区分	会計学	監査論	企業法	租税法	経営学	経済学	民法	統計学	総合
得点率	48.13	40.20	59.15※	53.50	50.60	-	-	-	49.69
問別得点（調整後）	一 23.4 四 37.7 二 20.75 五 42.45 三 20.1	一 17.4 二 22.8	一 30.75 二 28.4	一 22 二 31.5	一 26.5 二 24.1	三 - 四 -	五 - 六 -	七 - 八 -	
順位	652位	1,454位	456位	145位	351位	-	-	-	396位

論文２年目の反省点

テキストよりも、答練で好成績をとることに重きをおいていたことです。
また、質問コーナーにも足を運びませんでした。



令和04年 公認会計士試験論文式試験成績通知書

免除資格を取得した科目については、得点率の欄に「※」を表示しています。
免除資格を取得した科目がある場合には、論文式試験一部科目免除資格通知書を別にお送りしています。

科目区分	会計学	監査論	企業法	租税法	経営学	経済学	民法	統計学	総合
得点率	55.90	52.10	-	60.15	52.80	-	-	-	55.45
問別得点（調整後）	一 23.65 四 38.3 二 29.95 五 41.15 三 34.65	一 25.65 二 26.45	-	一 25.75 二 34.4	一 27.7 二 25.1	三 - 四 -	五 - 六 -	七 - 八 -	
順位	688位	1,109位	-	375位	1,101位	-	-	-	726位

3 年目で大きく変えたこと

　平林先生から「論文３年目は筋トレを始めて受かる人が多い」とのアドバイスを受けて、実際に自分も始めました。毎朝 3 分程度でしたが、目覚めもよくなり、自己肯定感も上がって、勉強にスムーズに取り組めました。また、講師やチューター、先に合格した友人など、とにかく、３年目は質問/相談の回数を劇的に増やしました。

不合格時の各科目失敗談・改善したこと

財務計算

　アクセスや答練の反復のみで、テキストを一切見返さなかった。見返したとしても計算手順を思い浮かべることはせず、目にしただけでテキストを見た気になっていた。どんなに得意な論点でも、定期的に出来るか定期的に確認しなければ忘れていく。記憶力に自信がある人でも要確認。本試験で緊張してど忘れなんてことになりかねない。

財務理論

　丸暗記したり論証例を全て書こうとしたこと。一番重要なキーワード・キーフレーズを自分の中に落とし込み、それが書ければ平均を下回りはしない。講師に随時確認。

管理計算

財務計算と同様。テキストが「抽象」・答練/アクセスは「具体」であるから、いくら具体が解けても本試験で同じ問題は絶対出ない。テキストの理解を重点的に固め、その理解を汎用して問題を解くイメージ。計算マシーンになってはいけない。

管理理論

丸暗記しない。計算問題と紐づけて理解した上で必要な場合には適宜暗記する。

監査

答練を解いてテキストに戻るだけでは、意味がない。テキストが一番大事であるため、テキストをおろそかにしてしまうことが非常に危険。

　答練は、テキストの理解がおろそかになっている部分を見つけるための教材であると意識する。丸暗記も×。人に説明でき、相手を納得させることができるかを意識する。適宜、講師やチューターに自ら説明し、理解が出来ているかを確認する（個別テキストチェック）。

企業

論証例の丸暗記はしない方がいい。適宜テキストに戻る。テキストは膨大なページ数のため、全部を隅々まで見る必要はない。模範解答の型はしっかり暗記する。奇をてらった回答は避ける。問いにしっかり応える。

租税法理論　条文を引くかどうか迷ったときにはしっかり引く。テキストにも定期的に戻るようにする。

計算　他科目とのバランスをみる必要があるが、２，３日計算に触れていなかったなんてことは避けるようにする。一番忘れやすい科目。

経営理論
　単語をはじめに丸暗記すると、文章記述式の問題に対応できない。単語の定義・意味を覚えれば、自然と単語も暗記していることが多い。本試験特有のちょっとした計算問題が出るが、答練初見時に練習すれば良い。

ファイナンス　章末・問題集を理解せず、ただ解くだけでは意味がない。公式をしっかり理解したうえで各々の問題に公式を当てはめて解くようにする。躓いたり、ちょっとでも計算に違和感を感じたら、すぐに講師に質問・相談に行く。

やって良かった勉強法（論文学習法セミナーと重複する部分以外）

財務計算
理論　テキストの理解に徹底する、理解に苦しむ論点は何度も講師に質問して腑に落とす、放置はしない。

管理　計算・理論共通…テキストの理解・テキストチェックゼミ
計算　テキストを確認した上で、アクセスを解く。アクセスはあくまでアウトプット教材として割り切る。答えを覚えるまでの回転はしない。
理論　テキストのうち、論文理論問題集の論点はしっかり理解したうえで説明できるように。「何も考えずに手が勝手に動く」ことにならないように注意。誰かに説明して納得してもらえるように意識する。

監査…テキストの理解に努める。監査の流れをしっかり意識する。細かい論点に集中しないようにする。常に手続き全体を俯瞰するイメージ。23 目標から始まる関西岡田先生のテキストチェックゼミは、受講するとよいと思います。

企業…テキストの理解を深める。法令基準集は必ず何度も引くようにする、何度も目にする条文でも必ず引く、条文を引くか迷ったら必ず引く。

計算　法人税を第一優先に、テキスト 1 の理解、計算力を固め、強化する。A 論点は絶対にミスしてはいけない。基礎、応用、直前、全国模試で A 論点は回転教材。何度も解きこなす。

その後、所得、消費の順で計算力を固め、維持する。租税法は、日を空けると計算力の衰えが顕著なため、意識的に取り組むようにする。最低 1 日 30 分。

経営理論

　テキストの重要語句を毎日こまめに暗記する。始めに語句を覚えるのではなく、語句の定義、意味から覚えるようにする。最初は、きついけど慣れれば模試では、安定する。本試験直前期にテキスト一冊分の単語を高速回転出来るようになれば文句なし。答練で出た用語は全てテキストに反映する。テキスト回転時に目に入るようにする。

ファイナンス

テキスト章末と問題集レベル 1 を、しっかり理解したうえで解けるように。考えずに問題を解けるのでは全く意味がない。理解できているか悩ましいときは、講師に自身の理解があっているか随時確認。

最後に

　全科目共通で、テキストが一番大事です。講師に質問することがなくても、ちょっとした雑談で気づきがあることも考えられるため、息抜きがてら質問コーナーに足を運ぶと良い。成績相談にも、全国模試の振り返り等に行くことをお勧めします。

M.O さん（論文 2 回目合格 社会人→専念、短答リスタート・論文リスタート）

失敗談　相談/睡眠時間/テキストを疎かにしたこと

■働きながら勉強していた時に、本当に時間がなく追われている感覚になり、学習相談に行きませんでした。ですが、特に私のように過去に受験勉強の経験があまりない方は、学習相談・質問の時間を作っていただき、計画の立て方や優先的にやるべきことなどを相談に行かれるといいと思います。

■睡眠時間を削ったこと

　働きながら勉強していたときに、周りの大学生と比較して焦ってしまい、理論科目の講義が増えたときに睡眠時間を削った生活を続けていました。ですが、効率的な勉強ができるわけでもなく、逆に体調を崩したり何もいいことがなかったので、本当にお勧めしません。睡眠時間を削る前に、相談等を活用されるのがお勧めです。

■テキストを理解しているかを確認せず、ただ計算の問題を回していたのはよくなかったと思います。

やってよかったこと・意識していたこと

　私は 2020 年目標で勉強を始め、2022 年目標で合格することができたのですが、最後に合格できた要因は、自分の勉強方法を見つめ直して、誤っているところを改善するようにしたことと、諦めなかったことだと思います。

1.本番当日に不安に思うことを考えて、解消する努力をする

　私は試験慣れしていないことと（大学受験から期間が経っている）、場の空気に影響を受けるほうだと思っていたので、論文２年目は、論文直前答練３回分について日吉校まで新幹線で受けに行っていました（スクーリング制度の活用）。

　また、論文模試では、受験地である名古屋校まで受けに行き、前年の試験会場等を参考にして本番と同じホテルに前泊の練習もしました。金銭的には本当に辛かったのですが、最後だという気持ちで、やれることはやろうと思っていました。

2.計画をしっかり立てる・友人との付き合い

　私は計画を立てたらその通りに実行できるタイプだったため、答練や模試から逆算して、どの時間に何をやるかといった計画を立てていました。逆に、予定が崩れるとストレスを感じるほうだったため、退職して実家に戻ったことは地元の友人には言いませんでした。

3.勉強時間に囚われすぎない/カリキュラムをただ「こなす」だけにならない
　一発合格した友人を見ていても、勉強時間が全てではないと思います。私自身、専念してから勉強時間を確保できていましたが、不合格を経験し、そこで勉強方法が誤っていたと気がつきました。正しい勉強方法を見つけることが一番大切だと思います。また、専念をすると時間的余裕ができカリキュラムを予定通りこなせるようになると思いますが、論文 2 年目は受け身な勉強にならないように気をつけました。

4.落ちたときのことを考えておく
　論文１回目で不合格を経験した際、論文２回目に落ちてしまった場合に再就職先があるのか不安でした。そのため、論文１回目に落ちた後、就職サポートの方に相談をして、もう一年専念できるか・トレーニー制度を活用すべきか、また仮に２回目に落ちてしまったときどういう対応ができるかを事前に確認しました。２回目の合格発表後のことを予め知っておくことで、論文不合格後の勉強に集中し直すことができたと思っています。

勉強法
　どの勉強方法が合うかや学生時代の受験勉強の経験などの前提条件は本当に人それぞれだと思います。私の科目ごとの状況（苦手・失敗談等）を簡単に書いておきますので、似ている状況がもしあれば見てもらえたらなと思います。

　全般的に、合格した２年目の私の勉強方法は、安達ゼミで体感したことを、基本的には他科目へ応用させるというものです。
　各科目テキストを大切にし、まずテキストの内容を理解し、次の段階でアウトプット（暗記）をしました。アウトプットにも、まず自分の言葉で・キーワードだけで言ってみる練習をして、次にテキストの言葉でなるべく言えるように練習をしました（企業は自分の言葉で趣旨を言えればいいと思います）。
　そして本試験で自分の頭の中に入れたテキストを引っ張ってこれるように、何度もアウトプットをして知識を維持しました。

＜管理＞
　論文１回目で不合格を経験するまで、計算の「回転」で乗り切ってしまい、テキストの理解が不足していた科目です。短答合格した時も、直前の模試で管理が E 判定になり、模試が終わってから本試験までに今までの答練・アクセスを全部解き直したりと計算問題中心で乗り切ってしまっていました。
①安達ゼミにパネリストとして全回参加

安達ゼミに参加をして、どれだけテキストを理解していなかったかや、勉強方法の誤りに気がつくことができました。私は安達ゼミの予習に本当に時間がかかってしまっていたので（テキスト理解が不足していたため、テキスト理解をすることとアウトプットをすること両方に時間が必要だった）、模試１回目までは管理に多くの時間を割いていました。

②テキスト中心の学習

計算問題演習にある程度時間を割くことも必要だと思いますが、私は短答合格まで多くの時間を計算の回転に割いていたので、論文 2 回目の時点では、管理の計算を改めて解くこと自体に必要性をあまり感じていませんでした。安達ゼミ終了後も、原価計算編と管理会計編で 1 章ずつ口頭でアウトプットする練習をして、テキスト内容を維持するようにしました。その際に、各章扉にアウトプットした日付とかかった時間をメモしておくと、次に勉強計画を立てるときに役立つと思います。

③本試験直前に管理トレーニングを全問確認

ピーク合わせをするために、本試験直前はトレーニングの問題を一通り確認しました。直前期は時間がないため、全て「解く」のではなく、問題文を読み道筋が立てられる問題、最近触れていなくて不安な問題、下書きが不安な問題など自分の中で問題に強弱をつけ、頭の中だけで解く/下書きの途中まで書いてみる/全部解くなど、確認方法を分けて全論点触れるようにしました。

＜企業＞

論文１回目で、論点ズレして、足切りを経験しました。企業法の答練や模試では範囲が決まっていたり、次に出るところの予想ができてしまうこともあり、答練や模試で論点ズレはあまりありませんでした。むしろ模試でランキングに載ることもあったので、あまり苦手意識を持っていませんでした。論証例の暗記は模試１回目には間に合わず（企業・監査の時間を減らして管理に充てていた）、模試２回目までに間に合わせました。

①テキスト中心の学習

問題集中心の学習をしていたのを、論文２年目はテキスト中心の学習に変えました。問題集ばかりやるのではなく、答練の範囲が決まっている段階ではその範囲のテキストを見直し、組織再編など整理しにくい分野はテキストで書かれていることの意味がわかるかだけではなく、条文を引き、条文からテキストの内容が分かるかの確認もしました。

②本試験当日の受け方を気をつける

本試験で問題文を読み、「これはあの論点かも」という段階で下書きを書き始めると、本当に論点ズレをしてしまう可能性が高くなってしまうと思います。基本的なことですが、本番だからこそ丁寧に、問題文の主語述語・時系列等を整理

して、それを条文と照らし合わせて問われている条文を見つけるよう気を付けました。

＜財務理論＞
　苦手意識はなく、理論科目で一番覚えやすく、忘れにくい科目でした。理論科目の中で、勉強した分だけ本試験でも努力が点数に反映されやすい、安定した科目だと思っていました。
①色々な方法でアウトプットする
　テキスト 1 ページずつ説明してみる、章扉のキーワードを使って想起できることを言ってみる、論文問題集の問題を使って答えを言ってみるなど、色々な方法でアウトプットしていました。
②法令基準集に載っている箇所を確認し、テキストに「法」マークをつける
③覚えにくい論点は、直前期は諦めず毎日アウトプットする
　どうしても覚えにくい論点は最後は Anki というアプリに入れて、毎日その論点に触れるようにしました。

＜財務計算＞
　連結や企業結合より個別論点の方がいつも偏差値が低かったです。論文１回目の時も、個別論点の計算問題で落としてしまい、偏差値が下がってしまいました。
改善したこと
①章扉を活用する
　自分がよく間違えてしまうことや忘れやすい論点を付箋にメモして、各章の表紙に貼り、その章を開くときにアウトプットする癖をつけた
②テキストの確認
　テキスト論点の復習と、被結合の論点は再受講して自分で説明できるようにしました。
③復習の間隔を意識する
　特に直前期は、ホームルーム資料内にあった論点別に６～12 日などで概ね１周勉強する方法を参考にして、ピーク合わせをしました。

＜租税＞
　１年目は、理論に取り掛かる時期が遅かったです。直前答練まで法人税の偏差値が所得税・消費税より低かったので、直前期は特に法人税に時間を使っていました。
改善したこと
①章扉を活用する（財務と同じ）
②間違った問題にマーカーを引く

　アクセスや答練で間違った問題にマーカーを引き、次回解き直すときはその箇所だけ解き直しました。

＜監査＞
　短答の頃から、テキストを開くのが一番億劫な科目でした。模試１回目までに、論文問題集の暗記だけはやりました。模試と本試験で一番乖離があった科目なので、他の方を参考にしたほうがいいです。
①テキストへ一元化
　論文問題集の箇所をテキストに反映し、その箇所をマーカーで強調していました。関西の論文対策講義を受講していたのですが、その中の資料をテキストに挟み込んでいました。
②1 日 1 章アウトプットする

＜経営＞
経営の計算には、ずっと苦手意識がありました。
①理論は早めに暗記する
１２月末くらいから毎日少しずつ欠かさずやっていました。試験委員に影響を受けない範囲の理論部分については、webschool「教材」に格納された単語集を Anki というアプリに入れ、ご飯を食べる前や家の中で歩いている時など隙間時間でアウトプットするようにしていました。直前テキストや直前答練でも新しい単語が出てくることがあるので、早めに少しずつ覚えていくほうが、私にとってはストレスが少なかったです。

メンタル調整
　一番大切なことは自分のことを知ることだと思います。勉強していく中で、自分がどういうところにストレスを感じるのか考え、それを避けるようにしていました。通信で他の人の状況が見えなかったのは、私にとっては良かったのかなとも思います。（他の人の成績を見てもモチベーションが上がるタイプではなく、学生と比較して焦ることもなくなったため）
①リングフィット（運動）をほぼ毎日 30～45 分やりました。
　午後集中力が切れる時間や勉強をしていらいらしたときは、リングフィットで心拍数を上げ、集中し直したり気分を切り替えたりしていました。リングフィット自体、運動をしながらゲームをクリアしていく内容（レベルアップしていく）で運動中はゲーム内で褒めてもらえるので、精神安定にいい気がします。また、体力維持にもよかったです。
②友人の SNS を見られないように、アカウント削除
　結婚出産育児をしている友人の様子を目にする余裕がないと思ったので、勉強を始める段階で SNS アカウントを削除しました。

就職活動について

　既卒で勉強されている方の中には、就職活動に不安を感じられている方もいらっしゃるかもしれません。私は論文試験後、監査法人で就職活動をしましたが、年齢に触れられたことはありませんでしたし、年齢で不利になっているなと感じる場面は個人的にはありませんでした。

最後にメッセージ

　答練や模試が始まると論文式試験まであっという間だと思いますが、最後まで、自分を信じて頑張ってください。応援しております。

Ｉさん（卒３　論文３回目合格）

失敗談

正直、「量より質」は甘えだと思います。僕はその考えを続けてきた結果、論文を 3 回も受けることになってしまいました。こうはならないで欲しいです。論文２回目以降でそれなりに答練の点数が取れてしまっている場合、一番危ないです。必要な休息ではなくて甘えた気持ちや試験に対して舐めた気持ちで勉強時間を減らしていたら、即成績が下がると考えていいと思います。

おすすめの勉強法

１つの知識に対して、源流段階に遡って考えることです。

費用性資産は減価償却を行う→将来の収益に対応させるため→なぜ収益と費用を対応させる必要があるか？

このように、なぜ？と問う勉強法で、全体像が見えるようになりました。

全体像が見えれば、あとはそこに知識を詰め込むだけです。

全体像が見えると、応用力が求められつつある(主観ですが)最近の試験傾向に対応できるはずです。

論文３回目の受験生へ

論文３回目の合格は、ある意味一番かっこいいと思います。僕の場合は、論文３回目・既卒３年目、途中管理で過呼吸になりながらも受け切って合格しました。諦めずに何回もこの試験を受け続けるなんて、常人じゃなかなか難しいと思います。合格したら、３年分の涙が出ますよ。必死で勉強しつつ、今からハンカチ買っといてください！

絶対合格！！！

Y.T さん（卒１　論文３回目合格）

論文不合格時の失敗談

　浅く広く勉強していたことや、カフェで勉強していたことです。将来の自分にとって、最善の行動を常に意識するべきでした。

３年目でやってよかったこと

　効率ばかり気にしていた時期から、単純に勉強に充てる時間を増やす努力をしたところ、成績が伸びました。

　毎週末友人と遊ぶことをエネルギーにしていました。筋トレすることによって、メンタルも安定していました。

　合格した年は、自分の言葉で「説明できるかどうか？」を基準にして、苦手分野をなくしていきました。

同じ状況の受験生へメッセージ

　いざ監査法人に入社すると、自分と同じ境遇・論文３回目合格の同期も多かったです。焦らず、自分の全力を出し続けることが大切だと感じます。応援しています。

【MEMO】